

若浜の子ども



令和3年6月16日第3号



バラが咲いた

自宅の庭に、つぼみをつけても咲かない弱いバラがあります。毎年病気にやられて、つぼみをつけても、咲かないうちに腐ったようになり、葉もバラバラと落ちてしまう重症のバラです。専用の消毒薬や専用の肥料を試してみましたが、ここ3年ほど同じ状態なので、あきらめて抜いてしまおうかと思いましたが、昨年はこのバラ以外にも病気がちで、たくさん咲くはずの品種までだめでした。土の入れ替えをしないと無理なのだろうと思いましたが、ダメもとで昨年の12月に腐葉土とたい肥を土にすきこんでみました。土中の微生物を増やして、苗の体力回復を期待する作戦です。すると今年は、黒点病にかかったものの、昨年までのように葉を落としたり、つぼみが腐ったりすることはなく、見事花を咲かせました。

今年はここまで、化成肥料は与えませんでしたし、消毒も昨年の残りを1回かけただけで、あまり面倒を見ませんでした。しかし、昨年とは全く違い、「病気にかかっても私は大丈夫。ちゃんと咲けるんだから。」と言っているように花を咲かせました。インターネットであれこれ調べ、付け焼刃の対策をとって過保護にしていた昨年までと違い、今年は手をかけていませんが、環境を整えるということについては、これまでよりも気をつけました。今回のことから、病気に対して後手に回り、あせって即効性のものをあれこれやるよりも、先のことを考え、環境を整え、あとはバラの力を信じた方がいいということ学びました。

学校の先生の悪い癖で、ここから教育に結び付けたくなくなってしまうのですが、子どもの教育にも似たところがあるのではないかと思います。今日、明日の成績や各種活動の成果も気がかりですが、子どもの幸せはもっと先にあります。しっかり食べて、元気に遊び、楽しく学び、よく寝ることが子どもの成長の基本ではないでしょうか。その先に、社会の変化にへこたれない、未知のウイルスにかかっても負けない、そんなたくましい人間への成長があるものと考えます。



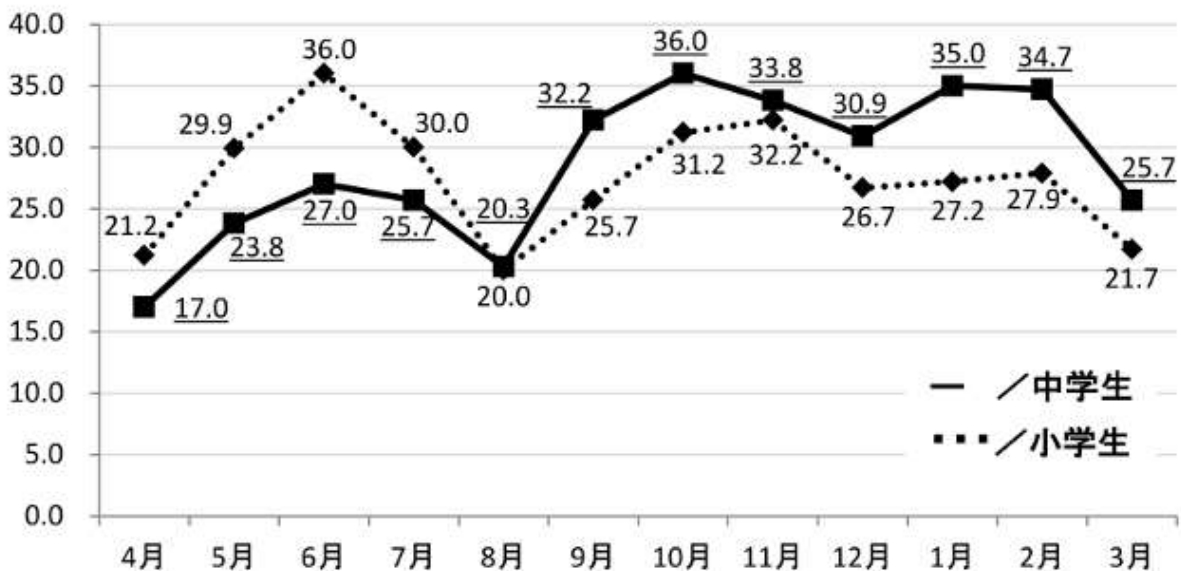
6月は危ない月

5月最終週から6月1週目にかけて、毎日のように食器の破損が続きました。割った方は学級で1件なのでわからなかったと思いますが、謝罪を受け付ける側では、連日だったので、これは何か起きているのではないかと感じました。インターネットの受け売りですが、調べてみると以下のような記事がありました。(破線で囲んだ部分)

いじめが増える時期は、6月と11月

5月から6月、10月から11月というのは、日照時間が変わる時期にあたるので、セロトニンの合成がうまくできず、分泌量も減り、その結果、不安が強まり、“うつ状態”を経験する人が散見される季節なのです。“安心ホルモン”のセロトニンの不足は不安を招くだけでなく、暴力性を高め、過激なギャンブルにはまるなど、悪い結果になることを承知しつつも、それを止められない“衝動性障害”を招くことがわかっています。

滋賀県大津市では、2011年に起きたいじめ自殺を機に自治体主導で、市内の小中学生を対象に、いじめのピークはいつなのかということに着目した調査を行っています。下はその調査結果のグラフですが、上の破線内の記事と重なります。



(2017年度 滋賀県 大津市調べ)

いじめの側に回らない！そのために…

学校では、5～6月や10～11月は、運動会など大きな行事が終わった直後です。運動会や学芸会は、集団行動が多く団結が求められる行事です。そこでは、オキシトシンが高まり、

ルールに従わない人や、みんなと違う動きをする人、クラスの役に立たない人が目立ちやすくなる状況を作ってしまう。そのため、あいつは攻撃してもいいんだという口実を見つけやすくなっている状況でもあります。

この時期に標的になってしまうと、いじめは過激化しやすいため、科学的にもそういう危険な時期であることが指摘されているのだということ念頭に置き、配慮していくことが大切です。

これは、もちろん標的になってしまった子のせいではなく、むしろいじめる側が、季節的な脳内ホルモンの変動も一因となって、自分の抱える衝動の持って行き場がなくなり、結果として起こってしまった事象と捉えるべきだろうと思います。

こうした時期に人間関係のトラブルを避けるためには、ちょっと不思議な言い方に聞こえると思いますが、仲間意識を不必要に高めすぎないという方法も有効なのです。仲間意識を高めないためには、例えば、クラスの間人間関係が入れ替わるようなイベントをするなど、集団が固定化し、関係が濃密になりすぎない工夫を取り入れるとよいでしょう。

またできるだけセロトニンの分泌を促すように、外で日光を浴びて体を動かすような運動を取り入れてみるのもよいでしょう。

若浜小学校では、以下の対応をとっていじめに立ち向かいます。

- いじめアンケート…6月、11月、2月
 - いじめ個別面談…6月、11月
 - 学級経営診断・分析…6月、10月
 - あなたのこころ元気ですかカード…5月、1月
- ご心配なことがありましたら、アンケートを待たずにご相談ください。

今年もあいさつがんばります！

昨年度、学校と母親委員会がタイアップして取り組んだ「マナー検定」。おかげさまで、子どもたちのあいさつはぐんぐん良くなってきました。交通指導員さんや安全サポーターさんからの評判も上々です。これは、登校班長さんたちのがんばりがあってのことです。また、廊下で軽く会釈して声を発する子が増えてきたことにより、廊下を走る子も心なしか減ったように思います。

酒田「小さな親切」の会（前田直己会長）様からは「あいさつ運動推進学校」の委嘱を受け、のぼり旗、たすき、活動助成金をいただきました。（活動助成金は登校班旗の更新に使います。）

今年度も母親委員会と連携して「マナー検定」に取り組み、好感の持たれる人の育成に取り組んでまいります。

今年度の目標 心のこもったあいさつを、いつでも、どこでも、誰にでも！

あいさつで、地域を元気にしよう！

多くの先生の手で賢く元気な若っ子に

6月からプール監視員として渡會理華さん、非常勤講師として丸藤博敬先生(松原小前校長)をお迎えすることになりました。現在若浜小学校は、交通指導員さん、若浜安全サポーターの皆様、子ども110番の皆様など身の安全を守っていただいている方々のほかに、下記の通り数多くの方々からご支援いただいています。本当にありがたい限りです。

低学年の学習ボランティア…松川てい子先生(主任児童委員、本校元校長)、村上千景先生(本校前校長)

1年生読み聞かせ…松川てい子さん、大場千穂さん、渡部久美子さん、加藤優子さん

4年生総合的な学習…心のふるさと新井田川の会事務局(原田清廣さん、伊藤則義さん、

鈴木四郎さん、今田哲雄さん)

クラブ活動(4年生以上)…佐藤昇さん、田賀純一さん、大平光昭さん、池田巳喜雄さん、佐藤真樹さん

若っ子のがんばり



○ 小体連陸上出場予定選手による校内記録会(5/10 光ヶ丘陸上競技場)

100m	男子	6年	鈴木瑛士	14秒9	近野瑞希	15秒7
	女子	6年	佐藤優名	16秒3	伊藤 梓	17秒3
走り幅跳び	男子	6年	高橋亮太	3m35	池田斗真	3m24
	女子	6年	北野芭南	3m20	佐々木結菜	3m13
ジャベリック投げ	男子	6年	井上遥琥	29m60	加藤絢翔	37m20
	女子	6年	尾形咲智	28m40	進藤奈緒	37m50
走り高跳び	男子	6年	高橋希晏	1m27		
	女子	6年	井澤歩花	1m20		
1000m(男子)	6年	加藤 碧	3分44秒1	渡部遥斗	3分45秒1	
800m(女子)	6年	佐藤千波菜	2分50秒4	山下ひなた	2分57秒3	
5年100m	男子	進藤大馳	15秒8	女子	芝田朱里	15秒5
400mリレー	男子	鈴木瑛士・加藤絢翔・近野瑞希・加藤 碧	1分03秒5	女子	井澤歩花・山下ひなた・佐藤千波菜・佐藤優名	1分04秒5

新型コロナのため5月16日の小体連の陸上記録会は中止となりましたが、選抜選手の努力は記録として残すことができました。

○ 第41回全日本学童軟式野球大会酒田飽海地区予選会

第2位 CJヤンキース